



ヤバい仕組み化

年商49億円、14期連続、増収増益を実現！

吉川 充秀・松田幸之助 著
株式会社 あさ出版
(2023/11)

仕事の属人化、業務のブラックボックス化、組織として成果が出ずに悩んでいる方に
おすすめの1冊です！

【感想】

本書は、株式会社プリマベールを従業員数400名・年商49億円でまで育て、49歳で社長交代を果たした取締役会長兼CGO(最高ゴミ拾い責任者)吉川充秀さんとCCO(最高コンサルティング責任者)松田幸之助さんの共著により、15年の経験から導き出された会社経営における成果の出る仕組みを理論から実践方法まで惜しみなく紹介しています。

株式会社プリマベールでは、経営の必須項目を4つのポイント(報告・決定・実施・チェック)に分け、この4項目をPDCAサイクルの様に高速回転させ、成果を生み出す「決定サイクル」を機能させています。

この「決定サイクル」を回すことによって、「戦略確率×実行確率＝会社の業績」を最大限にし、自動で社員と社長が成長し、会社が成長する仕組みを整えています。

本書では、明日から取り組める超実践的な方法を「そんなに見せていいのか」という程惜しみなく解説されています。業績をあげたい、成長したい、店舗経営していて業務の標準化ができない、会社を仕組みで回したいといった、組織を持つ方には是非お読みいただきたい一冊となっております。

【以下引用】

・株式会社プリマベールでは、マニュアルのつくり方にも、マニュアルを設けています。

マニュアルづくりのルール

- ① 目的をつくる。「何のためのマニュアルか」を明確にする
- ② やってはいけないことを伝える
- ③ 手順を伝える
- ④ 注意点、ポイントを伝える
- ⑤ 具体例を入れる
- ⑥ 画像や動画を使う

・「日報」こそ、経営情報の宝庫である。

株式会社プリマベールでは、意思決定の精度を高める為に「報告」を重要視しています。

【日報を起点に決定サイクルを高速回転させる/一例】

- ・深夜 02 時/アルバイトが日報で業務改善を提案(報告)
- ・午前 06 時/社長が提案を承諾、チャットワークで事業部長に指示を出す(決定)
- ・午前 10 時/事業部長がマニュアル化し、全店に業務連絡、横展開

資源が限られる中小企業こそ、仕組みで経営できるような体制を構築していきましょう。